

山田養蜂場主催
第8回

ミツバチの一枚画コンクール

応募締切 令和2年7月15日(水)消印有効

応募者全員に参加賞を差し上げます

～ミツバチを描いて、SDGsについて考えよう、取り組もう～

地球上の生き物は、お互いに深い関わりをもって生きています。

ミツバチを描くことで、「自然環境の大切さ」を改めて考えたい、そしてより良い世界をつくる目標SDGsにも意識を向けたい。

そんな想いのつまったコンクールです。あなただけの素晴らしいミツバチの世界を自由に描いてください。



SDGsについて考えよう



ミツバチと自然環境の関わり



ミツバチは花から蜜をもらってお返しに、花粉を運んで受粉させ、植物が育つ手助けをしています。地球上からミツバチがいなくなると、スーパーに並ぶ約7割の野菜や果物が消えてしまうといわれているくらい、ミツバチは植物と支えあっている命をつないでいるのです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、貧困や不平等、気候変動といったさまざまな問題を解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

SDGsに取り組もう



作品の応募が森づくりにつながる



山田養蜂場は、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、国内外で植樹活動を行っています。本コンクールの応募作品1点につき1本の植樹を行います。今年は、昨年度のお応募作品数16,204本の苗木を、中国やネパールに植樹する予定です。

募集テーマ

「花とミツバチ」「自然の中のミツバチ」「人とミツバチ」など、自然環境の大切さや人との関わりを感じられるミツバチを描いた絵画。

賞

賞	一般の部		賞金10万円	賞状 盾 副賞
	大賞	小学生の部		
	幼児の部	1点		
優秀賞	小学生の部	1点	賞金5万円	賞状 盾 副賞
	中学生の部	1点		
	高校生の部	1点		
	一般の部	1点		
入選	小学生の部	2点	賞金1万円	賞状 副賞
	中学生の部	2点		
	高校生の部	2点		
	一般の部	3点		
	幼児の部	2点		

上記のほか、各部門で「佳作(賞状・副賞)」表彰あり
※海外部門の受賞者にも各賞あり

◎ 団体奨励賞

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には書籍のセット「みつばち文庫」、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。

部門・対象

<国内作品>

幼児の部 小学生の部 中学生の部 一般の部

※一般は18歳以上で他の部門に属さない方。

<海外作品>

17歳以下の部 18歳以上の部

※年齢は応募締切時点とする。

学校、クラス単位など団体応募も歓迎。

応募作品について

- 作品サイズは四つ切画用紙(380mm×540mm)またはA3サイズ(297mm×420mm)の用紙。
※若干のサイズ違いは可。額入りは不可。油彩はキャンバスではなく紙ボードなどを推奨。(厚さ10mm以内)
- スケッチ、イラスト、貼り絵など表現方法および水彩、クレヨン、油彩など画材は自由です。
- 未発表で必ず本人が描いたものに限り、(HPや同人誌に掲載したものも発表とみなします)
※応募作品は返却いたしません。作品は写真などの記録に残して応募してください。

発表・表彰

◎ 発表

2020年10月下旬に朝日小学生新聞、朝日中高生新聞、山田養蜂場の当コンクールウェブサイトで開催予定

◎ 表彰式

2020年10月24日(土)に、上位入賞者を招待し、浜離宮朝日小ホール(東京都中央区)で実施予定

応募方法

- 応募用紙に必要事項を記入して、作品の裏・右下に作品の天地がわかるようにしっかりと貼り付けてください。(1作品につき1枚)
- 別途、応募申込書を作品に同封の上、事務局までお送りください。
※団体で応募する際は、①園・学校・画塾などの所在地、②応募担当者(とりまとめて下さる方)のお名前、③応募者リストを記入した、団体応募申込書を必ず同封してご応募ください。
※園・学校・画塾など、代表者がとりまとめて応募いただく場合は、1名から団体応募となります。

詳しくはコンクールウェブサイトをご覧ください。
応募用紙のダウンロードもできます。

[URL]
<https://www.3838.com/ichimaiga>

一枚画コンクール 検索

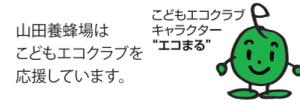
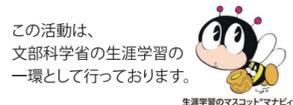


問い合わせ・作品応募先

「ミツバチの一枚画コンクール」事務局
〒531-0077 大阪市北区大淀北1丁目6番29号 凸版ビル4階
「ミツバチの一枚画コンクール」事務局
TEL 06-6452-3125 10:00~17:00
土・日・祝日のぞく

主催:株式会社 山田養蜂場 ■共催:朝日学生新聞社

後援:玉川大学ミツバチ科学研究センター、国際児童図書評議会
日本国際児童図書評議会、JBBy、JHP・学校をつくる会



ミツバチや養蜂が学びに活かされています!

ミツバチが教えてくれる大切なことや、当コンクールを子供たちの学びや喜びにつなげていただいている例を紹介します。



ミツバチが教えてくれる大切なこと

ミツバチは家族で支え合っている

ひとつの巣箱には女王バチ、働きバチ、オスバチがいて、それぞれがもつ大切な役目を一生懸命に果たしながら、助け合って「家族」で暮らしています。



みんなは一人のために

ミツバチは一匹一匹が様々な役割を担いながら共に生きている社会性の昆虫です。それは私たち人間も同じ。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の奉仕の気持ちをミツバチは教えてくれます。



ミツバチからの貴重な恵み、命の重み

一匹のミツバチが花畑を飛び回り、一生かかって集められるはちみつのは量は、スプーン一杯分にもなりません。はちみつには、ミツバチ一匹の命の重さが詰まっています。



ミツバチの一枚画コンクール 受賞者の声



<第6回 優秀賞 幼児の部>

金澤 凜奈 さん

(入賞したと聞き)はじめはびっくりして「信じられない!」と思いましたが、がんばって描いたので、とっても嬉しかったです。小さなミツバチさんもずっと幸せに生きられる自然がいっぱいあればいいなと、お花をいっぱい描きました。



<第5回 入選 中高生の部 (中学生)>

竹野 綾 さん

私は正直、ハチが怖くて苦手だったのですが、ミツバチと花と人のつながりを表現するために、ミツバチの生体を調べるにつれ、その存在の大切さが分かりました。

ミツバチと触れ合う子供たちの様子



※みつばち教室の様子

「ミツバチの一枚画コンクール」に団体応募をいただいた先生がたの声

このコンクールの目的である「命の大切さ」や、「社会性」「協力しあって生きることの大切さ」を、子供たちに考えてもらいたいと思い、毎年参加しています。2年生の生活科、3年生の理科で昆虫の生態を学ぶ単元があり、このコンクールへの参加で、その単元の理解にもつなげています。
(小学校の先生より)

ミツバチは子供たちにとって身近な生き物です。いちご農家さんがミツバチを使って受粉しているのも素晴らしいですね。当校では自由参加にしていますが、子供たちは楽しんで取り組んでいるようです。
(小学校の先生より)

生き物がモチーフだと生徒が積極的に描いてくれるので、このコンクールに参加しています。「ミツバチが生きやすい環境」について考えることで「環境問題」について学べます。また、普段はなかなか知り得ない「ミツバチの生態」などにも視線を向けられるところが良い点だと思います。
(中学校の先生より)

作品の応募が森づくりにつながる



養蜂業を原点とする山田養蜂場は、「自然との調和」を理念に掲げており、未来を担う子供たちに豊かな自然環境を受け渡そうと、1999年より国内外で植樹活動を続けています。

「ミツバチの一枚画コンクール」では、**応募作品1点につき1本の植樹**を行っていて、昨年は応募作品と同数の20,896本を、中国とネパールに植樹しました。植樹した場所では森が蘇っています。

植樹地：ネパールの様子

Before



2014年

After



2019年

コンクールに応募されるみなさまへ

- 応募者全員に参加賞を差し上げます。
- 山田養蜂場が取り組む国内外の植樹活動で、応募数1点につき1本の植樹を行います。

団体奨励賞について

コンクールの発展に寄与した学校・団体に授与します。受賞した小学校には書籍のセット「みつばち文庫」、幼稚園・中学校・高校・画塾などには弊社商品をお届けします。